

平成25年度
埼玉県博物館連絡協議会
総会・見学会

資 料

平成25年4月25日(木)
埼玉県立歴史と民俗の博物館

平成25年度 埼玉県博物館連絡協議会 総会・見学会 次第

日 時：平成25年4月25日(木) 13:30～16:30

会 場：埼玉県立歴史と民俗の博物館 講堂

1 あいさつ

2 議 事

- (1) 退会館及び新規入会館について 【資料1】
- (2) 平成24年度 各地域活動報告について 【資料2】
 - ・南部地域活動報告 埼玉県立文書館
 - ・西部地域活動報告 埼玉県立嵐山史跡の博物館
 - ・東・北部地域活動報告 八潮市立資料館
 - ・秩父地域活動報告 埼玉県立自然の博物館
- (3) 平成24年度 事業報告について 【資料3】
- (4) 平成24年度 決算報告について 【資料4】
- (5) 平成25年度 事業計画(案)について 【資料5】
- (6) 平成25年度 予算(案)について 【資料6】
- (7) 埼玉県博物館連絡協議会緊急時相互支援検討委員会設置について 【資料7】

3 見学会

特別展「発掘された木の道具」

退会及び新規入会館について

◆退会館について

24年度は退会館なし

◆新規入会館について

(1)「城西大学水田美術館」(平成25年度入会)

先方より入会したいとの旨、連絡があり、平成25年1月22日付けで入会届が提出され、平成25年4月1日からの入会として受理した。

<概要>

住所：埼玉県坂戸市けやき台1-1

TEL：049-271-7327

館長：水田 宗子 氏

開館：10:00～16:00 休館日：日・月・祝日、大学夏期・冬期休業

※城西大学水田美術館 HP の「美術館概要」より抜粋

城西大学水田美術館は、本学の創始者である水田三喜男先生が生前に蒐集された浮世絵コレクションを母胎として、1979年3月に水田記念図書館棟8階に創設されました。浮世絵をご鑑賞いただくとともに、日本の文化の発展に寄与することを目的として、コレクションの公開を行っております。現在の水田美術館は、城西大学創立45周年記念事業の一環として新たに2011年12月に開館いたしました。

平成24年度 南部地域 活動報告

(チーフ館：県立文書館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
南部地域加盟館園長会議	平成25年 3月15日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度事業報告・収支報告について 平成25年度事業計画について 災害時緊急連絡網の構築について 	大宮盆栽美術館

2 活動・事業等

名称	概要	
見学会	平成25年3月15日(金) ・大宮盆栽美術館 館内説明のあと、「常設展」、「特集展示」を見学。	大宮盆栽美術館

3 その他特記すべき事項

なし

平成24年度 西部地域 活動報告

(チーフ館：埼玉県立嵐山史跡の博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
第1回地域会議	4月19日(木)	①平成23年度事業報告及び決算報告 ②平成24年度事業計画及び予算案審議 ③平成24年度役割分担について	川越市立博物館
第2回地域会議	7月19日(木)	前期研修会 第1回作業部会	三芳町立歴史民俗資料館
第3回地域会議	2月20日(水)	後期研修会 第2回作業部会	飯能市郷土館

2 活動・事業等

名称	概要
7/19 前期研修会	テーマ「小さな町の博物館ー地域博物館における市民・児童・生徒の取組みー」 講師：大竹幸恵氏(長野県長和町教育委員会) ※縄文時代に使用された黒耀石の採掘遺跡である鷹山遺跡群の活用、行政・市民・学校を巻き込んだ多様な博物館活動の取り組みを紹介。
2/20 後期研修会	テーマ「人が集い、楽しむ博物館とは？ー国内外の事例をもとにー」 講師：染川香澄氏(ハンス・オン プランニング代表) ※ミュージアムアドバイザーとして、ユニークな体験型展示を発案・実施した例を紹介。

3 その他特記すべき事項

<p>西部地域館園催し物案内：3か月ごとに発行 4～6月号：担当・川越市立博物館、7～9月号：担当・川越市立美術館、10～12月号：担当・原爆の図 丸木美術館、1～3月号：担当・埼玉県平和資料館</p> <p>作業部会：各館の体験学習等のデータベース化、各館紹介チラシの企画</p>
--

平成24年度 東・北部地域 活動報告

(チーフ館：八潮市立資料館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
総会	6月1日(金)	①平成23年度事業・決算報告 ②新役員紹介 ③平成24年度事業・予算案審議 ④ブロック加盟館園事業スタンプラリーについて審議 ⑤加盟館園24年度事業計画報告 ⑥久喜市立郷土資料館常設展示見学	久喜市立郷土資料館
役員会	8月3日(金)	①スタンプラリー実施要項及び記念品贈呈規定について審議 ②台紙デザイン・記念品について審議	春日部市郷土資料館
加盟館園会議	11月21日(水)	①各館園スタンプラリー実施状況報告	熊谷市立熊谷図書館

2 活動・事業等

名称	概要
ブロック加盟館園事業 スタンプラリー	10月2日～3月31日 東・北部ブロック加盟館園の利用促進を図るとともに、加盟館園相互の連携を密にすることを目的に実施。参加館園数は、17館（リニューアル等で休館中の館園を除く）で、ラリー完了者には記念品を贈呈。
見学会	11月21日(水) 熊谷市立熊谷図書館企画展「里見明正展～生誕100周年記念～」 国宝 歿喜院聖天堂

3 その他特記すべき事項

なし

平成24年度秩父地域 活動報告

(チーフ館：埼玉県立自然の博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
第1回秩父地域館 会議	5月15日(火)	①平成23年度事業報告 ②平成23年度会計報告 ③平成24年度実施事業について	横瀬町郷土資料館
第2回秩父地域館 会議	3月7日(木)	①平成24年度事業報告 ②平成24年度会計報告 ③平成25年度実施事業について ④武甲山資料館見学会	武甲山資料館

2 活動・事業等

名称	概要
武甲山資料館見学会	展示を一部リニューアルした武甲山資料館を、研修として見学した。展示を見ながら地域の文化や自然に関する情報交換も出来、有意義だった。参加者9名。

3 その他特記すべき事項

第1回会議において、東日本大震災での被害状況の情報交換を行った。

平成24年度 事業報告

事業	日時・会場	事業内容
役員会	4月20日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成23年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議・承認 ・平成24年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
	3月19日(火) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成24年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議・承認 ・平成25年度事業計画(案)・予算(案)の質疑・承認 ・その他
総会	4月20日(金)(45人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成23年度事業報告(案)・決算報告(案)の質疑・承認 ・平成24年度事業計画(案)・予算(案)の質疑・承認
チーフ館会議	6月29日(金)・2月1日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館他	・各地域の活動状況の報告と問題点について ・今後のブロック活動の在り方について
研究会	9月14日(金)(20人) 妻沼中央公民館・歓喜院	・講演「歓喜院聖天堂の建築と装飾」 講師：内海 勝博 氏 (文化財建造物保存技術協会 事業部修復設計課技術主任)
	11月8日(木)(32人) ※文化財保護協会との共催 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・講演「震災復興と文化」 講師：赤坂 憲雄 氏 (福島県立博物館館長・学習院大学教授・ 遠野文化研究センター所長)
文化財レスキュー・ 防災研修会 (資料保存研修会)	2月14日(木)(58人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館 ※文化財保護協会・埼玉協との共催	・講演「文化財レスキューの課題と文化財防災構想の構築に 向けて」 講師：青木 繁夫 氏 (サイバー大学教授・東京文化財研究所名誉研究員)
見学会	4月20日(金)(45人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「大名と藩」見学
	9月14日(金)(19人) 歓喜院 聖天堂	・聖天堂 見学
	11月8日(木)(34人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・常設展「特別公開 埼玉の国宝」、 特別展「職人のわざとカタ ー商品の誕生ー」見学
県外研修会	10月18日(木)(21人) 笠間日動美術館 笠間稲荷神社 茨城県陶芸美術館	・茨城県方面 笠間日動美術館 講師：事務局長 大塚 好雄 氏他 茨城県陶芸美術館 講師：副館長 菊池 達 氏他
ブロック会議	随時	・各地域ブロックチーフ館が主催運営
加盟館園職員名簿	6月27日(水)発行	・加盟館園職員名簿のデジタルデータを作成し配布
埼玉博連加盟館マップ	8月20日(月)発行	・平成23年度に発行した埼玉県博物館連絡協議会加盟各館 園の所在地および概要を紹介したパンフレットを、加筆修正 し増刷・配布
イベント用のぼり	9月20日(木)	・埼玉博連の加盟館園で使い回しのできるイベント用のぼりを 作成(スタンプラリーPR用のぼり)
リスクマネジメントの 検討・打ち合わせ	2月14日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・リスクマネジメントに関する検討委員会立ち上げ準備 ・災害時の危機管理や資料のレスキュー、それにかかる予算 などについて

平成24年度 埼玉県博物館連絡協議会 決算報告

(収入の部)

(単位:円)(下段のかっこはH23年度)

項目	予算額	収入額	比較増減額	備考
会費	930,000 (926,000)	930,000 (926,000)	0 (0)	21,000 × 14 館 = 294,000 14,000 × 14 館 = 196,000 10,000 × 44 館 = 440,000 免除 × 1 館 = 0
参加費	30,000 (30,000)	40,300 (28,000)	10,300 (Δ 2,000)	1,000 × 18 人 = 18,000 3,000 × 3 人 = 9,000 700 × 19 人 = 13,300 ※前期研究会
雑収入	63 (1,078)	87 (93)	24 (Δ 985)	預金利子
繰越金	443,137 (709,922)	443,137 (709,922)	0 (0)	平成23年度より繰越
計	1,403,200 (1,667,000)	1,413,524 (1,664,015)	10,324 (Δ 2,985)	

(支出の部)

(単位:円)(下段のかっこはH23年度)

項目	予算額	支出額	執行残	備考
旅費	20,000 (20,000)	0 (5,320)	20,000 (14,680)	
事務費	126,000 (126,000)	79,795 (74,175)	46,205 (51,825)	通信運搬費 8,540 消耗品費 17,865 電話回線使用料 45,960 サーバーレンタル料 7,430
事業費	959,000 (1,080,000)	808,897 (1,050,983)	150,103 (29,017)	県外研修会費 154,748 地域別連絡協議会費 219,000 研究会費 21,999 埼玉博連MAP印刷代金 262,900 埼玉博連のぼり作成代金 150,250
報償費	90,000 (90,000)	60,000 (90,400)	30,000 (Δ 400)	講師謝金 60,000
予備費	208,200 (351,000)	0 (0)	208,200 (351,000)	
計	1,403,200 (1,667,000)	948,692 (1,220,878)	454,508 (446,122)	

(収支の部)

(単位:円)(下段のかっこはH23年度)

収入済額	1,413,524 (1,664,015)	
支出済額	948,692 (1,220,878)	
差引残額	464,832 (443,137)	(次年度へ繰り越し額)

監査報告

上記のとおり相違ありません

平成25年 4 月 16 日

ふくみ野市資料館

坪田 幹男 (印)

平成25年 4 月 17 日

埼玉県博物館連絡協議会 (埼玉県版元報評)

椎木 隆夫 (印)

平成25年度 事業計画（案）

事業	日時・会場	事業内容
役員会	4月25日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成24年度事業報告・決算報告 ・平成25年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
	3月中旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成25年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議・承認 ・平成26年度事業計画(案)・予算(案)の質疑・承認 ・その他
総会	4月25日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成24年度事業報告・決算報告 ・平成25年事業計画(案)・予算(案)の審議・承認
チーフ館会議	6月上旬・2月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館他	・各地域の活動状況の報告と問題点について ・今後のブロック活動の在り方について
研究会	7月下旬 未定	・演題、講師未定
	11月中旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・演題、講師未定
資料保存研修会	3月上旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・演題、講師未定
見学会	4月25日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「発掘された木の道具」見学
	7月下旬 未定	(前期研究会会場館の展覧会にあわせて)
	11月中旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「狩野派と橋本雅邦」見学
県外研修会	9月下旬	・会場未定 (案：栃木県方面、群馬県方面)
ブロック会議	随時	・各地域ブロックチーフ館が主催運営
IT運営委員会	随時	・埼玉県博物館連絡協議会ホームページの運営、ホームページ内容の充実化
加盟館園職員名簿	6月下旬発行	・加盟館園職員名簿のデジタルデータを作成し配布
埼玉博連加盟館マップ	7月下旬発行	・平成24年度に発行した埼玉県博物館連絡協議会加盟各館園の所在地および概要を紹介したパンフレットを、加筆修正し増刷・配布
緊急時相互支援検討委員会	11月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・埼玉県博物館等相互支援組織の設置について ・災害時の危機管理や資料のレスキュー、それにかかる予算などについて

平成25年度 埼玉県博物館連絡協議会予算(案)

(収入の部)

(単位:円)

項目	H24予算額	H24決算	H25予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH24予算)
会費	930,000	930,000	940,000	10,000	21,000 × 14 館 = 294,000 (294,000) 14,000 × 14 館 = 196,000 (196,000) 10,000 × 45 館 = 450,000 (440,000) 免除 × 1 館 = 0 (0)
参加費	30,000	40,300	30,000	0	会員@1,000:非会員@3,000 30,000 (30,000)
雑収入	63	87	63	0	預金利子 63 (63)
繰越金	443,137	443,137	464,832	21,695	464,832 (443,137)
計	1,403,200	1,413,524	1,434,895	31,695	

(支出の部)

(単位:円)

項目	H24予算額	H24決算	H25予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH24予算)
旅費	20,000	0	20,000	0	旅費 20,000 (20,000)
事務費	126,000	79,795	206,000	80,000	通信運搬費 50,000 (50,000) 消耗品費 20,000 (20,000) 電話回線使用料 46,000 (46,000) サーバーレンタル料 10,000 (10,000) パソコン機材等買取料 80,000 (0)
事業費	959,000	808,897	742,000	△ 217,000	県外研修会費 150,000 (150,000) 地域別連絡協議会費 222,000 (219,000) 研究会費 10,000 (10,000) 緊急時相互支援検討委員会 100,000 (100,000) 広報イベント費 260,000 (480,000)
報償費	90,000	60,000	90,000	0	講師謝金 90,000 (90,000)
予備費	208,200	0	376,895	168,695	376,895 (208,200)
計	1,403,200	948,692	1,434,895	31,695	1,434,895 (1,403,200)

○予算案の内容

- ・会費収入比較増減内訳
城西大学 水田美術館 入会 10,000円 新規入会
- ・パソコン機材買取料 80,000円 【内訳】 埼博連専用パソコン買い換え費用
- ・地域別連絡協議会費は222,000円(74館×3,000円)とします(+3,000円)
- ・緊急時相互支援検討委員会 100,000円 【内訳】 文化財レスキュー・防災等に関する資料の購入費
- ・広報イベント費内訳
埼博連加盟館マップ作成 260,000円 【内訳】 @73館×100部+予備2700部=10000部(発送費込)
加盟館74館だが大鳳会館は配布物の送付は無し

埼玉県博物館連絡協議会緊急時相互支援検討委員会設置要項（案）

1 名称

この委員会は、埼玉県博物館連絡協議会緊急時相互支援検討委員会（以下「委員会」という）と称する。

2 設置目的

委員会は、埼玉県博物館連絡協議会（以下「協議会」という）加盟館園等、県内博物館・資料館施設において、災害等により所蔵資料及び施設等に影響が及ぶような被害があった場合、速やかに資料の救済・保管（文化財レスキュー）を行うため、加盟館園相互の協力・支援体制を整備することを目的とする。

3 運営体制

委員会は協議会会長の承認を得て運営し、検討結果等は協議会総会及び役員会で報告する。

4 組織構成

委員会は各ブロックから選出された委員及び協議会事務局長で構成する。

委員長は協議会事務局長をもってあて、委員会を統括する。委員会は委員長が招集し、必要に応じて他機関等からの協力を得ることができる。

5 任期

委員の任期は2年とするが、再任することができる。

6 活動内容

- (1) 災害等緊急時における、連絡網の整備
- (2) 災害等緊急時における、下記計画の検討と立案
 - ① 地域別・分野別の相互支援計画
 - ② 被災した博物館等資料の応急的レスキュー計画
 - ③ 被災した博物館等資料の安定化・再生のための計画
 - ④ 緊急用梱包資材等の備蓄計画
 - ⑤ 災害等緊急時における職員派遣制度の検討
- (3) 防災計画・危機対応マニュアルの整備
- (4) 文化財レスキューに関わる研修・視察等の実施
- (5) 他機関・組織及び大学等との連携
- (6) その他、文化財レスキューに関すること

7 協力・支援範囲

協議会加盟館園を基本とするが、加盟館園以外でも、所蔵資料の保存・管理に危険が生じた時、あるいは要請があった場合には、委員会で協議の上、加盟館園と同様の措置を講じることができる。

8 その他

本要項に定めるもののほか、必要な事項については、会長の承認を得て委員会が定める。

(施行)

平成25年4月25日

別紙

平成25年度及び26年度委員館

- ①埼玉県立歴史と民俗の博物館（事務局長館）
- ②埼玉県立文書館
- ③宮代町郷土資料館
- ④鉢形城歴史館
- ⑤毛呂山町歴史民俗資料館

平成24・25年度埼玉県博物館連絡協議会役員

(◎印は会長、○印は副会長)

◎南 部	埼玉県立歴史と民俗の博物館	(館長： 錢場 正人)
南 部	さいたま市大宮盆栽美術館	(館長： 菅 健彦)
南 部	戸田市立郷土博物館	(館長： 武内 義夫)
西 部	跡見学園女子大学花蹊記念資料館	(館長： 泉 雅博)
西 部	入間市博物館 ALIT	(館長： 黒澤 一雄)
西 部	埼玉県平和資料館	(館長： 椎木 隆夫)
西 部	ふじみ野市資料館	(館長： 坪田 幹男)
○東・北部	春日部市郷土資料館	(館長： 實松 幸男)
東・北部	埼玉県立川の博物館	(館長： 平山 良治)
○秩 父	やまと一あーとみゅーじあむ	(館長： 富田 孝)

平成24・25年度 監 事

西 部	ふじみ野市資料館	(館長： 坪田 幹男)
西 部	埼玉県平和資料館	(館長： 椎木 隆夫)

平成24・25年度 各地域チーフ館園

南 部	埼玉県立文書館
西 部	川越市立博物館 (25・26年度) (23・24年度 埼玉県立嵐山史跡の博物館から改選)
東・北部	八潮市立資料館
秩父地域	埼玉県立自然の博物館

平成25年度 埼玉県博物館連絡協議会 総会・見学会 参加者一覧

館名	参加者職名	参加者氏名
朝霞市博物館	館長	神津 明美
跡見学園女子大学花菱記念資料館	課長	桑田 一徳
入間市博物館 ALIT(アリット)	館長	黒澤 一雄
	副館長	宮臣 敏夫
うらわ美術館	副館長	小林 照教
桶川市歴史民俗資料館	主査	白子 隆之
春日部市郷土資料館	文化財保護課担当課長兼郷土資料館長	寛松 幸男
(公財)埼玉県学校給食会 学校給食歴史館	専門員	丸山 修
川口市立アートギャラリー・アトリア	館長	山下 浩文
川口市立科学館・サイエンスワールド	館長	中村 雅美
川口市立文化財センター分館郷土資料館	主査	岩澤 聡
川越市立博物館	館長	田中 信
	主査	天ヶ嶋 岳
久喜市立郷土資料館	学芸員兼担当主査	池尻 篤
熊谷市立熊谷図書館 美術・郷土資料展示室	主幹兼美術・郷土係長	金子 正之
埼玉県平和資料館	主幹	石坂 俊郎
埼玉県立川の博物館	事業推進部長	萩原 幸仁
埼玉県立近代美術館	副館長	依田 英樹
埼玉県立さきたま史跡の博物館	主席学芸主幹	鈴木 秀雄
	担当課長	小峰 俊章
埼玉県立自然の博物館	副館長兼主席学芸主幹	二階堂 実
	学芸主幹	楡井 尊
	専門員兼学芸員	大久根 茂
埼玉県立文書館	主任学芸員	針谷 浩一
埼玉県立嵐山史跡の博物館	学芸主幹	利根川 章彦
埼玉県立歴史と民俗の博物館	館長	銭場 正人
さいたま市大宮盆栽美術館	副館長	田口 勝一
さいたま市立博物館	主査	雨宮 正人
	主任	根本 久美子
さいたま市立漫画会館	館長	山形 洋一
狭山市立博物館	館長	白倉 孝
秩父美術館・仏教資料館	事務局長	西 勝寿
鉄道博物館	副館長	嶋立 良晴
戸田市立郷土博物館	館長	武内 義夫
鉢形城歴史館	館長	岩田 英二
羽生市立郷土資料館	主事	高鳥 邦仁
飯能市郷土館	主任	村上 達哉
富士見市立資料館(本館)水子貝塚資料館	館長	島村 敏昭
ふじみ野市資料館(ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館)	主任学芸員	橋本 祐可子
文化施設建設準備室((仮称)岩槻人形会館)	主任	粕谷 英司
ミニ博物館 地球&宇宙	館長	渡辺 美和子
宮代町郷土資料館	館長	青木 秀雄
毛呂山町歴史民俗資料館	係長	佐藤 春生
	主事	有山 佳孝
八潮市立資料館	資料館係長	高山 治
(財)山崎美術館	館長	山崎 登貴子
吉見町埋蔵文化財センター	係長	太田 賢一
城西大学水田美術館	学芸員兼担当主査	紫村 裕美

埼玉県博物館連絡協議会会則

(名称)

第一条 本会は、埼玉県博物館連絡協議会と称する。

(所在)

第二条 本会は、事務局を会長の所属する博物館（類似の施設を含む。以下同じ。）に置く。

(目的)

第三条 本会は、各博物館相互の連携を緊密にし、博物館事業の振興を図ることを目的とする。

(事業)

第四条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 地域別連絡協議会の開催
- 二 研究会・研修会・視察などの開催
- 三 情報の交換
- 四 会誌・研究物の刊行
- 五 その他必要な事業

(会員及び会費)

第五条 本会は、埼玉県内の博物館を会員として組織し、会員は、次項に定める会費を毎年度納入するものとする。

2 会費は、毎年度4月1日現在のそれぞれの博物館の職員数に応じて、次の各号に定める額とする。ただし、この規定により難しい場合は、一会員10,000円とする。

- | | | |
|---|-----------|---------|
| 一 | 1人から5人まで | 10,000円 |
| 二 | 6人から10人まで | 14,000円 |
| 三 | 11人以上 | 21,000円 |

(役員)

第六条 本会に、次の役員を置く。

- | | | |
|---|-----|-----|
| 一 | 会長 | 1名 |
| 二 | 副会長 | 2名 |
| 三 | 理事 | 若干名 |
| 四 | 監事 | 2名 |

(役員職務)

第七条 役員職務は、次のとおりとする。

- 一 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 二 副会長は、会長を助け、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 三 理事は、会長及び副会長とともに役員会を組織し、会務を整理する。
- 四 監事は、会計を監査する。

(役員選出)

第八条 役員選出は、次のとおりとする。

- 一 会長及び副会長は、理事が互選し、総会で承認する。
- 二 理事は、県立、市町村立、法人及び私立からそれぞれ選出し、総会で承認する。
- 三 監事は、役員会で推薦し、総会で承認する。

(役員任期)

第九条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(顧問)

第十条 本会に、顧問を置くことができる。ただし、任期は2年とする。

(会議)

第十一条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

2 会議は、会員の過半数が出席しなければ、これを開き議決することができない。

3 議事は、出席会員の過半数により決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会)

第十二条 総会は、年1回開催するものとする。ただし、会長が必要と認めたとき又は会員の3分の1以上の要求があったときは、臨時に総会を開くことができる。

2 総会は、次の事項を審議する。

- 一 会則の改正
- 二 事業計画及び予算
- 三 事業報告及び決算
- 四 役員を選任
- 五 その他重要な事項

(役員会)

第十三条 役員会は、会長が必要と認めたときに開き、次の事項を審議する。

- 一 総会への提案事項
- 二 その他必要な事項

(表彰等)

第十四条 本会（加盟の館及び園を含む。）の振興に著しい功績があった場合又は本会の事業推進に積極的な協力があった場合は、その都度、役員会の承認を得て、これを表彰し、又は感謝の意を表することができる。

(経費)

第十五条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第十六条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 総会前の事業及び予算の必要な範囲の執行については、会長の専決により行うことができる。

(事務局)

第十七条 本会の会務を処理するため、事務局に次の職員を置く。

- 一 事務局長 1名
- 二 事務局次長 1名
- 三 幹事 若干名

(細則)

第十八条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は別に定める。

付 則

この会則は、昭和49年10月30日から施行する。

平成7年4月28日一部改正

平成11年4月28日一部改正

平成17年5月19日一部改正

平成18年5月31日一部改正